

第6学年音楽科学習指導案

日 時 2023年9月12日（火）5校時

児 童 恵庭市立恵庭小学校6年2組33名

指導者 小田桐 千夏

1. 題材名 豊かな表現を求めて

2. 題材の目標

- (1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。
- (2) 旋律や音楽の縦と横の関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じたこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもつ。
- (3) 声部の役割や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ジャズをもとにした音楽や器楽合奏に親しむ。

3. 題材の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。・思いや意図に合った表現をするために必要な各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じたこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。	声部の役割や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

4. 指導計画と評価計画（6時間扱い）

	指導内容	観点別具体の評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1	<p>○「宝島」の主旋律を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱を聴き、大まかな曲の感じを捉える。 ・ 歌詞の内容を捉えて歌う。 ・ 旋律の流れを捉え、歌詞との関わりを生かして歌う。 	宝島の曲想と音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の内容との関わりに気づいている。		
2	<p>○下声部を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時を振り返り、主旋律を歌う。 ・ 下声部の音を確認して下声部だけ歌う。 ・ パートに分かれ、音取とりをする。 	宝島の曲想と音楽の構造について理解している。		
3	<p>○高音部、中音部、下声部に分かれてパート練習を行い、全体で合わせて歌唱する。</p> <p>①の部分をもとにパートの特徴を捉えて、どのよう歌っていくか考えて歌う。</p> <p>同じ旋律を一緒に歌う。フォルテ。テンポが遅くならないように6拍子の流れにのって歌う。</p>	宝島の曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	声部の役割や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に取り組もうとしている。
4 (本時)	<p>○①②③ごとにパートの特徴を捉えて、どのよう歌っていくか考えて歌う。</p> <p>②：メゾピアノから始まる。</p> <p>かけ合いながら③に向かって少しずつ盛り上がる。</p> <p>③：フォルテ。広がった響きの和音が多いので、3つのパートを重ね合わせて盛り上げていく。</p>		旋律や音楽の縦と横の関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	声部の役割や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に取り組もうとしている。

	指導内容	観点別具体的評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
5	<p>○「L-O-V-E」の曲想を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スウィングのリズムを確認。 ・ 全員リコーダーで①のパートを演奏する。階名唱をし、運指を確認する。 ・ リコーダーで②のパートを演奏する。2つのグループに分かれ、上声部と下声部を分担して演奏する。 ・ 範奏 CD に合わせ、③や低音、打楽器を確認し、自分のパートの楽器を決めて分担をする。 	<p>「L-O-V-E」の曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりについて理解している。</p>		
6	<p>○「L-O-V-E」の主旋律を演奏し、ほかのパートを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①②③打楽器など、パートごとに集まって練習をする。 ・ 強弱等、音のバランスに注意する。 ・ 反復を生かしながら、全員で演奏する。 		<p>音楽の縦と横の関係などを聴き取り、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	

5. 教材名「宝島」

6. 教材観

この題材では、曲想や歌詞の情感を感じ取り、旋律の形をとらえ、反復と対照を感じながら歌わせることをねらいとしている。上声と下声が広がった響きの和音が多く、よく聴き合って3つのパートを重ね合わせるようになっているが、一部2つのパートに絞って練習させていきたい。また、歌詞の言葉の高まりに寄り添った旋律が豊かな起伏をもっており、その点も意識させていきたい。歌唱時の呼吸やブレス、発音の仕方に気を付けながら「曲想に合った歌い方」を工夫できるように指導したい。

7. 共通事項との関わり

共通事項ア 旋律、拍、音の重なり フレーズ

共通事項イ 呼びかけと答え、音楽の縦と横の関係をとり扱う。

8. 児童の実態

3年生から5年生までコロナ禍で過ごしてきた学年であり、特に歌唱に関しては、ほとんど経験していない。本校では、5年生の1月頃に歌唱の学習が可能になったが、体育館などの広い場所でのみ学習可となったため、数えるほどしか学習できていない。

また、思春期に入っていることもあり、マスクをはずすこと自体、ハードルが高く、私自身、指導に戸惑うことも多いのが、現状である。コロナ禍の反動で、歌えるようになったことに対して喜びを感じている子も見られるが、マスク生活の慣れからか、自己表現することに抵抗を持ち、歌唱に関しては特に消極的な子も見られる。

6年生になり、音楽の学習の中でも特に、歌唱の機会を大切にしてきた。高学年によくある高音域になると、歌声がか細くなってしまうということが課題である。教科書以外の合唱曲にも取り組み、歌うということ自体をまずは楽しいと感じてもらえるようにさまざまな楽曲に取り組んできた。夏休み明けの歌声を聴くと、男子の半数ほどが声の出しづらさ、かすれ、不安定な状態であり、変声期初期をむかえていることがわかった。

今回の学習では、変声期をむかえている子たちへの理解を深め、該当児童に配慮しながら、パートごとに聴き合ったり、励まし合ったりする中で、合唱を通して児童相互の結びつきを強めていけたらと考えている。

9. 本時の目標

曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解するとともに、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。

10. 本時の展開（4／6）

	学習内容	教師の関わりと評価基準・具体的評価方法 ☆共通事項を知覚・感受するための手立て ※指導時の留意点 △目標に達していない児童への支援 □具体的評価基準 【 】評価方法
導入	1. 既習曲などで発声練習をする ・体操（体・顔）、歌う姿勢 ・君をのせてなど 2. 本時の課題を知る	※音楽の学習に入る雰囲気づくり
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 曲の特ちょうにふさわしい歌い方を考えよう。 </div> 3. 宝島の楽譜から特徴を読み取る	※楽譜を①②③の3つに分けて考える ※①の部分は、前時に取り組むことにしたため、本時では、②③を考える。

	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜から読み取れることやどのように歌ったらよいかをパートごとに話し合いながら、ポイントをクロームブックに書き込む。 ・必要に応じて、クロームブックの音源を利用しながらまたは、実際に歌いながら考えていく。 <p>→パートごと（4グループ）に考えたことを提示しながら、全体で交流する。</p> <p>5. どのように歌うとよいか、みんなで考えをまとめていくと同時に、教師の方からポイントを確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童からの考えをもとに、気づいてほしい点や合唱時のポイントを伝えながら歌う。 ・最後に作曲者である羽田健太郎さんのメッセージ動画を視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレスに注目して、フレーズを考える ・強弱、歌詞からどんな気持ちで歌ったらよいかを考える <p>☆「音楽を言葉で表現する」を配布し、考える際のヒントになるようにする。</p> <p>△一人では考えられない児童もいるため、パートごとにグループで対話することで、楽曲の特徴について気づくことができるようにする。</p> <p>□曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【グループでの話し合いの様子】 【楽譜への書き込みの様子】</p> <p>① 6拍子の流れにのる フォルテ</p> <p>② かけ合いになっている部分の歌い方 →順次進行の旋律をスムーズにメゾピアノ</p> <p>③ 3つのパートが和音になっているので広がりを感じながらサビを盛り上げる</p> <p>作曲者の思いを知り、合唱に生かしていく。</p>
まとめ	<p>6. 学習のまとめをする 「宝島」の特徴にふさわしい歌い方を確認し、全体で歌う。</p>	<p>※時間があれば、学習を振り返り、感想や気づいたことを交流する。</p>

11. 評価

- ・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に取り組もうとしていたか。
- ・曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うか考えていたか。

12. 楽譜

宝島

岩谷 時子 作詞
 羽田健太郎 作曲
 赤尾 暁 編曲

児童の楽譜には、強弱記号が書かれていないものを配布しています。

1

♩=84ぐらい 元気よく

アイウエ-アイオ-イウ

1 さ あ い こ う ゆ め に み た し ま へ と る な み
 2 さ あ い こ う う た ご え が な が れ る あ お

を こ え て か ぜ に の つ て う み へ て よ う
 ゼ ら の ま し た に し ろ い ほ を あ げ よ う

ゆ く て に は み ん な ま だ し ら な い て ふ く し る
 う み が よ ぶ ほ う け ん の た び じ て

ぎ な ひ る と よ る と が ま っ て い る だ ろ う い つ も
 し い こ と や あ ら し に き っ と あ う だ ろ う い つ も

し ん じ よ う - ま わ ご こ れ ろ ん ず
 ほ ほ え み を - ま わ ご こ れ ろ ん ず

を に - - } す す も う よ た
 ゆ う き を む ね に す す も う よ

だ ひ と つ の - あ こ が れ だ け は

{(♯)ど この だ れ に も } け せ は し な い
 {ど ん な と き に も }

2

3

1. のとき

2. (間奏)

さ - た

17 (17小節体む)

17

フィナーレ
 Fine (終わり)

ダルト・セーニョ
 D.S. (番へ)